

主な議案

平成30年度 補正予算

一般会計歳入歳出補正予算  
1830万5000円  
(総額123億3050万5000円)

ふるさと応援寄附事業

240万円

ふるさと応援寄附に利用するポータルサイト数の増に伴う業務委託料

空き家対策事業

296万9000円

特定空き家等の解体工事費用



コミュニティ助成事業

200万円

宝くじの社会貢献広報事業を活用した屋外放送施設整備事業に対する助成(相の浦区)

● 地域公共交通運行事業

324万1000円

温泉保養宿泊施設「TAKUWA」開業に伴う運行見直しに係る運行管理委託料の増額

● 消防団の訓練災害に要する経費

123万2000円

宝くじの社会貢献広報事業を活用した防火衣の購入費用

● 牟田辺遺跡発掘調査事業

290万円

調査面積の増加及び発掘出土品保存費の増加に伴う、牟田辺遺跡発掘調査事業費の増加

副市長選任について

● 副市長選任について  
測上哲也氏の任期が平成30年6月28日にて満了することになり、後任に荒瀬弘之氏を承認しました。  
(測上哲也氏は平成22年6月29日から平成30年6月28日まで2期歴任されました。)



議案甲 第20号  
多久市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

服部 奈津美

● 質問 今回の改正の目的は。

● 答弁 厚生労働省令の改正に伴う改正です。放課後児童クラブでの勤務経験が豊富だが、中卒のために放課後児童支援員になれない方へ、放課後児童支援員の資格要件を5年以上放課後児童健全育成事業の実務経験

● 質問 5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者で、市長が適当と認めた者となるが、市長が適当と認める基準は。

● 答弁 中卒者で5年以上継続的に放課後児童健全育成事業の実務経験を有し、県が行う放課後児童支援認定資格研修を受講、修了証を受領した者です。

● 質問 5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者で、市長が適当と認めた者となるが、市長が適当と認める基準は。

乙号 議案第26号  
平成30年度多久市一般会計補正予算(第2号)

平間 智治

ふるさと応援寄附に要する経費

240万円について

● 質問 事業の現状と、寄附額の目標は。

● 答弁 多久市ふるさと応援寄附は、平成27年度9495万円、平成28年度1億3592万円、平成29年度5368万円と平成28年度に比べ大きく減少しました。寄附受付ウェブサ



イト閲覧数の減少が一因と考え、今までの寄附受付ウェブサイト1事業者から、4事業者に増やし、寄附者の目に触れる機会を増やすことで寄附額の増額につなげていきます。また、寄附額の目標は、総務省において、返礼に関する一定のルールづくりが進められている状況と過去3年間の実績を踏まえ、今年度の目標額を1億円とし、経費の算定等を行っています。

● 質問 1億円の寄附がされた場合、実質的に多久市で積み立てできる金額はいくらか。また、返礼品の調達額を3割から変えることは可能か。

古賀 公彦

● 牟田辺遺跡発掘調査に要する経費

290万円について

● 答弁 1億円の寄附に対して4事業者のサイト利用を含む経費の試算として約5700万円を見込んでいます。残りの約43%、4300万円が積み立て可能と考えています。調達額については、制度管理をしている総務省からの通知、指導を遵守していきたいと考えています。

● 質問 財源と事業費の詳細について。  
● 答弁 佐賀県からの受託事業として本調査を実施していますが、今回、県の事業計画の変更に伴い本調査対象面積が約1000㎡追加され、それに関する経費200万円、平成29年度、出土遺物の保存処理の追加費



野北 悟

● 空家等の適正な管理に要する経費

266万6000円について

● 質問 事業の内容について。

● 答弁 空家等の対応として、所有者等に対し、適正な管理をお願いしていますが、周辺へ与える危険性を考慮し、特定空家等に関し手続きが整ったものから速やかに対応するため、2件分相当の建物解体工事費

